



特技を活かして

人助けができる

Profile

博多警察署 盗犯係【専門捜査官】
平成28年採用 巡査長
長崎国際大学 卒業

やりがい

私自身、携帯電話機を盗まれるという被害に遭い、その時は、悪い方向にばかり物事を考えてしまい、とても心細かったことを今でも覚えています。その経験で、被害に遭うということは、当事者にとって特別なことで、事件の内容を問わず、とても怖いものだと知りました。私は、**被害に遭われた方々が、少しでも安心できるように、犯人を捕まえたい**と思っています。また、それができるこの警察官という職業に、とてもやりがいを感じています。

交番で勤務している時、盗撮の110番通報が入り、現場に赴いたところ、台湾国籍の男性と日本人の女性がおり、男性は駅員に囲まれ、大声で何やら叫んでいました。男性に**私が中国語で話しかけると、急に安心した**ようで、叫ぶのを止め、落ち着いて話し始めました。この事案は、男性が盗撮犯に間違われたという事案であり、男性は日本語が通じなかったことから、不安もあり大声で叫んでいたものでした。警察官になって、初めて**自分の言語が役に立ったと実感でき、私でも人を助けることができるんだ**と肌で感じ、とても印象に残る事案となりました。

警察官になったきっかけ

私は長崎県出身で、警察官になる前は、中国で約3年間ホテルの不動産部門のスタッフとして働いていました。そんなある日、私が中国で携帯電話機を盗まれ、助けを求めて日本という交番のような場所に現地の同僚と一緒にきましたが、警察はまともに取り合ってくれませんでした。その時、私は初めて警察という存在の大切さを実感し、**困っている人を助けたい**と思うようになりました。帰国後、警察官について調べたところ、福岡県警察が語学の専門捜査官を募集していることを知り、**中国で学んだ言語や経験を活かせれば**と思い、福岡県警を志望しました。ただ、私は小柄であるため、警察官として体力的な面で不安に思うところもありましたが、実際に警察官となった今では、**「小柄であってもできないことはない。」**と実感しています。

職場環境

警察官としては、まだまだ経験も知識も足りず、勉強しなくてはならないことばかりですが、上司や先輩にとっても恵まれ、小さな質問でも丁寧に事例を挙げて教えてもらえるので、とても勉強になります。また、私がこの職に就き、上司から贈られた忘れられない言葉があります。それは、**「積極的なミスは皆がカバーする。」**というものです。

その言葉を聞くまでは、「間違えたらどうしよう」と最初の一步が踏み出せない時がありましたが、その言葉を聞き、**警察はチームで仕事**をするものだと、改めて認識することができ、前向きに仕事ができています。

現在の勤務は、基本的に平日が勤務日で土日が休みです。職場にはスポーツや身体を動かすことを好きな人が多いので、夏にはラフティングやBBQ、冬にはスノーボードをしたりとアウトドアを楽しんでいます。また、月に数回言語の勉強のため教室に通っていますが、教室で先生と交流することも楽しいですし、更に**自分の言語を磨くこともでき、とても充実した休日を過ごしています。**